

1. 実践研究テーマ

学びの楽しさ・成長する喜びを前向きに受け止められる力を育む

2. 取組の内容(協力校等との連携等を含む)

(1) 二年次の取組について

【大松小の学校力】シンプルでわかりやすい実践に全員で取り組むことを通して「組織力」「教師力」「人間力」の向上をめざす。

【本校の教師力】算数科におけるめあて・ふりかえりの充実を通して授業力を向上を図る。

【学びの楽しさ】学習に対し、見方・考え方を働かせ伝え合おうとする児童の姿を見取る。

【成長する喜び】前より自分のことが「好き」と実感している児童の姿をめざす。

全教員が同じ方向に進んでいけるように、話し合いを行い、取組を進めた。

(2) 実践研究テーマを達成するための具体的方策と見取り

【学びの楽しさ】	具体的方策	メンター制を活かした校内研修の充実 学年間での授業参観・全員で校内研修 国語・算数のテスト(年2回)で、学力達成状況を測る。	教師の授業改善
	見取り	算数科における授業中の児童の変容を記録。	
【成長する喜び】	具体的方策	ふりかえりシート評価指標の作成 ふりかえりを活かした授業づくり	ふりかえりシートの活用
	見取り	学校力向上アンケート(年2回)を児童・教員に実施。 算数科におけるふりかえりを通して、自己調整力を育む。	

(3) ふりかえりシートの活用

PDCAサイクルに沿って、児童の成長を見通した単元計画を構想して授業実践し、単元を通したふりかえり活動を継続的に行い、授業改善に努めた。また、ふりかえりシートから見取った児童の変容を学年で分析し、校内研修などで情報共有した。

(4) 授業参観・授業づくり

研究授業に向け、指導主事の先生から指導助言をいただき授業者と教員が協力してチームで指導案の検討会を行った。当日の研究協議では、協力校の先生も一緒に意見交換を行った。また、各学年で随時授業参観を行い、感想や改善点を話し合い授業改善に活かした。

大松小学校ふりかえりシート評価指標

評価	評価指標(具体例)
A+	①単元・学習の前後を比較して、自分の変容に気付いている。 ②自他の意見を比較して、学習に対する考えを深めている。 ③次時への意欲や目標に関する内容が書けている。 (例)前まではコンパスは円を描くものだと思っていたけど、今日の授業で長さを写し取ることができるようになった。②私は式が書けなかったけど、Aさんの意見を聞いて式や9の段の答えの増え方が分かった。③今日はたし算の式を書いて、答えを出すことができた。次はひきざんにチャレンジしたい。)
A	生活や既習学習とのつながりを意識して書いている。 (例)プールの面積を長方形の公式を使って求めてみた。 比では、5年生で習った最大公約数を使うと速とけるので覚え直したい。)
B+	めあてに対するまとめと同じ内容のみ書いている。 (例)7の段の九九の答えは7ずつ増えていくことが分かった。)
C+	何も書けていない。



3. 取組の成果

○ 教職員の変容

- ・教員アンケートの結果から、全員で同じ目標に向かって実践していることが分かり、大松小学校の学校力を上げることに繋がった。
- ・学年間で授業参観を行うことで、以前よりわかりやすい授業を実践しようとする意識が高まった。
- ・ふりかえりシートやふりかえりシートの評価指標を活用することで、児童の学習達成状況や児童の主体性を見取り、次時の授業改善に取り入れるようになった。

○ 児童生徒の変容

- ・ふりかえりシートを活用することで、自分で学習のつまづきに気付いたり、得意・不得意な学習を分析したりできるようになった。また、学校生活向上アンケートの結果から「自分の成長を感じた」「難しいことにも前向きに取り組んだ」の項目の数値が上がり、メタ認知や自己調整力を身に付け、主体的に学ぶ児童が増えた。
- ・自分の考えや意見を友達に伝えたり、友達の意見や考えを自分に取り入れたりすることができるようになってきた。また、アンケートの結果から、一学期よりも「学校が楽しい」「今の自分が好き」と答える児童も増えた。

4. 2年間の実践を振り返って

メンター制を活かした校内研修やふりかえりシートの活用により授業改善を進め、子どもの思考に沿った授業展開の工夫や思考力・表現力を高める指導の工夫について全員で取り組んだ。ふりかえりシートや評価指標を他教科にも取り入れ、授業改善と児童の成長の見取りを継続する。